

美術科の分析と改善策

1年

① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	・2時間連続の授業設定の中、基本的・基礎的な内容にじっくり時間をかけて落ち着いて取り組んでいる。アンケートの結果からも意欲的に取り組む姿勢がみえる。
発想や構想の能力	・単元の課題を理解しながら、創意工夫しようとしているが、個人差がある。
創造的な技能	・基本的な技能を身に付けつつ、創造性を高めることが、課題である。アンケートの結果から、授業の目標や目当てを意識できている割合が他の項目と比べて低い結果となった。
観賞の能力	・積極的に鑑賞しようという意欲・関心が高い。名画などの知っている作品や作品のエピソードなど、形式の鑑賞に関心が高いようである。

② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・ 授業の目的意識を高めるために、毎回授業の目標を板書する。
- ・ 実技テストで技能の定着を図る。
- ・ きめ細かい個別指導の時間を十分に確保する。
- ・ 鑑賞においては、名画など知っている作品を取り上げ、生徒の興味関心を高め、作品に対して深い理解につなげるようにしていく。

2年

① 分析

項 目	分 析
関心・意欲・態度	・アンケートの結果からほとんどの生徒は授業に集中し意欲的に取り組んでいるが、1時間の中で作業に集中するまでに時間のかかる生徒や作業のイメージがつかめずに進まない生徒もいる。授業内容の興味関心に関しては、一点透視の内容を難しく感じており、アンケートの結果は他の項目と比べると低い。
発想や構想の能力	・短時間の中で、発想や構想を練るのが難しい。下描きに時間がかかり、仕上げの時間が足りなくなってしまった。
創造的な技能	・個人差が大きく、自分自身の課題を解決し、創造性を高めさせることが課題である。また、アンケートの結果から、目標を意識して授業に取り組んでいる生徒の割合がアンケートの他の項目と比べ低いことが分かった。
観賞の能力	・アンケートの結果から、鑑賞の内容に興味がある生徒の割合が他の項目と比べ低いことが分かった。生徒の興味関心を高める、教材研究の必要がある。

② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・ 作品制作への見通しをもたせ、毎時間の目標を板書し、作業に取り組むようにする。
- ・ 学ばせたいポイントを絞り、短時間の中で集中し、発想を練ることができるようにする。
- ・ 説明のポイントを更に絞り、作業の時間を多く設定する。
- ・ 鑑賞では、テーマを絞り、グループ活動やクイズ形式など鑑賞形態の改善をする。

3年

① 分析

項 目	分 析
関心・意欲・態度	・アンケートの結果からほとんどの生徒は授業に集中し意欲的に取り組んでいると感じているが、アンケートの結果から授業の内容に興味をもてないと感じている生徒もいる。
発想や構想の能力	・短時間の中で、発想や構想を練るのが難しい。
創造的な技能	・個人に差が大きく、自分自身の課題を解決し、創造性を高めさせることが課題である。また、アンケートの結果から、目標を意識して授業に取り組んでいる生徒の割合がアンケートの他の項目と比べ低いことが分かった。
観賞の能力	・意欲的に発言をするなど主体的な鑑賞ができていますが、鑑賞の内容に興味に興味をもてないと感じている生徒もいることが、アンケートの結果から分かった。

② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・ 作品制作への見通しをもたせ、毎時間の目標を板書し、作業に取り組むようにする。
- ・ 生徒の興味関心が低い内容でも、それを学ぶ意義を伝えるようにする。
- ・ 発想については、宿題も含め、アイデアを練る時間的な余裕をつくる。
- ・ 生徒への個別指導をきめ細やかに行い、創造性の向上を図る。
- ・ 鑑賞では、内容によって生徒の関心が低いものも、視点の変化や授業形態の工夫によって、興味をもたせるとともに、批評し合う事の楽しさや大切さを感じさせる。